

ごみの発生量が少ない街

(東洋経済新報社 調べ)

分別回収で「ごみ」から「資源」へ

地球の資源には限りがあります。南丹市では、その資源を無駄にしないため、「ごみ」を資源活用するリサイクルをしています。しかし、現在の「ごみ」の種類はあまりにも多く、資源として活用するためには分別回収しなければなりません。

「ごみ」をきちんと分別することで「資源」へと再利用できます。例えば…

可燃ごみ

処理するとき発生するメタンガスを回収し、バイオガスとして、バイオガス自動車^①の燃料に使われたり、発電にも利用されます。バイオガスで対応できないものについては、焼却処分してそこで発生した熱を再利用しています。

臈コンポスト^②や臈生ごみ処理機^③を利用すれば、家庭でも畑や家庭菜園などの肥料にすることができます。

ビニール・プラスチック

固形燃料として再利用されます。

牛乳パック、新聞・雑誌などの紙類

再生紙として、新聞紙やトレットペーパーなどになります。

ペットボトル

シート製品(卵パック、フルーツ容器、食品容器、電子部品トレイ)などに再利用されます。

ダンボール

再びダンボールの原料に再利用されます。再生は、約七回まで可能です。

アルミニウム
アルミの地金の約六割が、もう一度アルミニウムへと生まれ変わります。また、日用品、工業品、鋳物などに再利用されています。

